

4-4 「再認証」受験について

以下の条件がそろった時に、「再認証」の受験が可能です。

- ① 適格性証明書の登録年月日から2年6か月を超えた有効期限内で受験するとき。
- ② 試験会場ごとの認証日(定期試験会場の選択画面参照)を有効期限が超えないとき。
- ③ 未取得の資格(適格性証明書に記載のない資格)を受験しないとき。

試験区分特定画面で、再認証受験で継続したい適格性証明書の情報を入力すると

「未取得の資格を受験しますか?」とシステムが受験者に伺います。

「いいえ」を選択すると、「再認証受験」となります。

未取得の資格を受験しますか? *

- はい
 いいえ

受験者情報の入力へ進む

受験会場の選択に戻る

受験者個人の情報、受験者の所属会社の情報を入力した後で、「受験する種類の選択」画面に移ると、既得資格だけが既に選択された状態(チェックボックスにチェックが入った状態)で表示されます。

画面は、既得資格をTN-1FVと入力した方の例です。

受験する種類の選択

(注意)ブラウザの「戻る」ボタンを押すと、入力された内容が消えてしまいます。
画面の下の方の「前の画面へ戻る」ボタンをクリックしてください。

受験を希望する検定を選択してください。

ティグ溶接 (裏当て金なし)

基本級[TN]	<input checked="" type="checkbox"/> TN-1F
専門級[TN1]	<input checked="" type="checkbox"/> TN-1V

次へ

前の画面へ戻る

専門級を持っている受験者が再認証試験を受けるときには、基本級の省略が可能です。
チェックボックスのチェックを外し受験したい専門級のみ選択してください。

ティグ溶接（裏当て金なし）

基本級[TN]

TN-1F

チェックボックスが外れた状態

専門級[TN1]

TN-1V

この場合、TN-1Vを合格されると自動的にTN-1Fも認証が継続されますが、不合格の場合はTN-1Fの認証も継続できませんので、ご注意ください。